

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-26	高等学校	外国語科	コミュニケーション英語Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	コⅢ・332	Compass English Communication III Revised		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法並びに学習指導要領に則って、外国語を学ぶことを通じて、自律した個人として我が国社会の形成・発展に貢献できるとともに、国際社会の平和と発展に寄与できる人材を養うための教科書を目指し、下記のような点に配慮しました。

◎これからの社会を支える若者として知っておきたい現代的なトピックを扱いました。

◎論理的思考力を育て、生徒が自律的に学習できる課題を設定しました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Unit 1	リーディング・ストラテジーを使ってさまざまな文章を読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 6-22
Unit 2		
Lesson 1 A Black and White Beauty	絶滅の危機にある野生のパンダの実態を読むことで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指しました。(第4号)	pp.26-34
Lesson 2 Let There Be Light!	照明デザイナーの石井幹子さんの思いを読むことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指しました。(第2号)	pp. 36-44
Lesson 3 How the Kiwi Lost Its Wings	ニュージーランド、マウイ族の伝説を読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp.46-54
Lesson 4 Nature Technology	自然界の生物の構造を応用した先端技術について読むことで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指しました。(第4号)	pp.56-64
Lesson 5 Buyology	広告等の背後にある売り手の心理的な戦略について読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 66-74
Lesson 6 Personal Space	人間のテリトリー意識と文化による差違について読むことで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 76-84
Lesson 7 Coffee Travels the World	コーヒーの歴史と現代の諸問題などについて読むことで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第5号)	pp. 86-96

Lesson 8 Reviving Cambodian Silk Culture	カンボジアの伝統技術の再生に力を尽くす日本人染織家について読むことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指しました。(第2号)	pp. 98-110
Unit 3		
Lesson 1 Laughter is the Best Medicine	笑いの効用について読むことで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 112-116
Lesson 2 Soup for Everyone!	世界の様々なスープとその効用について読むことで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第5号)	pp. 118-122
Lesson 3 Monet's Passion for Japanese Art	モネに日本画が与えた影響について読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 124-128
Lesson 4 Understanding the Teenage Brain	若者の脳の特徴について読むことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指しました。(第2号)	pp. 130-134
Lesson 5 The Man Who Planted Trees	荒れ地を緑に変えた男の物語を読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp.136-143

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条に掲げられた目標を達成するため、実用的な英語運用能力の育成と、生涯にわたって学習を継続する自律的学習者育成を目指し、下記のような点に配慮しました。

◎4技能をバランスよく統合した活動を工夫しました。

◎文法はコミュニケーションを支えるものという立場に立ち、実際に英語を使用する場面を多く設定しました。

◎写真や図版等を適切に使い、学びやすさに配慮しました。

◎内容理解の設問は英語によるものとし、英語で授業を進めやすいよう配慮をしました。

◎随所に配置されたコラムにより、生徒の学習方略への意識を高め、生涯学習を見据えた自律的学習者育成を目指しました。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-26	高等学校	外国語科	コミュニケーション英語Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	コⅢ・332	<b>Compass</b> English Communication III Revised		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ◎学びやすさへの配慮

- ・Unit 1で英文の構成とリーディング・スキルを学習し、Unit 2でそのスキルを活用しながら英文を読み、Unit 3でパート分けされていないまとまった分量の英文を読むといった、段階を追った構成としました。各レッスンで読んだり聞いたりした内容について概要・要点を把握する課題を設定しました。
- ・文法事項・文構造については、中学やコミュニケーション英語I、IIでの既習事項をスパイラルに学習し、定着できるよう配慮しました。
- ・生徒が関心を持ち、社会に出てからの視野を広げられるような題材を幅広い分野から採用しました。
- ・写真やイラストを多く配置し、視覚的な面からも内容理解が容易になるよう工夫しました。

### ◎4技能を統合した活動の工夫

- ・Unit 2の各レッスンには、本文の内容理解を確認するための聞く・書く・要約する課題を設定し、本文のトピックや言語材料に関連した言語活動を配置しました。

## ■各レッスンの構成■

### Unit 1

1. 各レッスン冒頭—英文を読む時に意識したいスキルについて簡潔にまとめました。
2. 本文—英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーによる書き下ろしです。
3. 本文対向ページ—①TRUE OR FALSE：本文の内容理解確認問題。②TRY：スキルを活用して英文を読むことで掴みたい内容を問う問題。

### Unit 2

1. レッスントビラ—本文へスムーズに導入できるよう、写真を中心に視覚的な配慮を施しました。
2. 本文—英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーによる書き下ろしです。欄外に、Unit 1で学んだリーディング・スキルを活用する設問を設けました。
3. 本文対向ページ—Comprehension：A. 本文の内容理解確認問題（選択式）、B. 本文の要旨を整理して理解するための問題。
4. 各レッスン末—①Review：本文の内容について、A. リスニングによるT-F、B. 本文の要旨をまとめた表などの空所補充をする問題。②Phrases & Structures：本文内で留意したい文法事項・語法について確認。③Practice：A. 新出単語等に関する問題、B. 重要フレーズに関する問題、C. 文法事項・語法に関する問題。④Further Practice：A. 新出単語の派生語を問う発展問題。B. 本文と関連するテーマについての英文や会話を聞いて答えるリスニング問題、C. 本文のトピックや言語材料を使った自己表現活動。

### Unit 3

1. 本文—英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーによる書き下ろしです。
2. 各レッスン末—Comprehension：A. 新語を他の英語で言い換えたものを選択する問題、B. 内容理解確認問題（空所選択補充式）、C. 本文の要約の空所補充をする問題、D. 内容理解確認問題（選択式）。
3. Column—スキミングやグラフの読み取りをするコラムを設けました。巻末コラムとして、接頭辞・接尾辞の一覧を設けました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Unit 1	<p>第2款 2</p> <p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p>ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。</p> <p>ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>	<p>(1) ア：本文 (p. 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20)</p> <p>(1) イ：本文 (p. 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20), TRUE OR FALSE (p. 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21)</p> <p>(1) ウ：TRY (p. 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21)</p> <p>(1) エ：TRY (p. 17, 19, 21)</p> <p>(2) ア：本文 (p. 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20)</p> <p>(2) イ：本文 (p. 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20), TRUE OR FALSE (p. 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21), TRY (p. 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21)</p> <p>(2) ウ：本文 (p. 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20), TRUE OR FALSE (p. 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21), TRY (p. 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21)</p> <p>(2) エ：TRY (p. 17, 19, 21)</p>	24
Unit 2 Lesson 1 A Black and White Beauty	<p>第2款 2</p> <p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p>ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。</p> <p>ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款 英語に関する各科目に共通する内容等</p> <p>1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、地域での活動、学校での学習や活動</p> <p>[言語の働きの例] c 情報を伝える：説明する／考えや意図を伝える：主張する</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの</p>	<p>(1) ア：本文(p.26, 28, 30), Review A(p.32), Further Practice B (p.34)</p> <p>(1) イ：本文 ( p.26, 28, 30 ) , Comprehension(p.27, 29, 31), Review B (p.32)</p> <p>(1) ウ：Comprehension(p.27, 29, 31), Review B(p.32), Further Practice (p.34)</p> <p>(1) エ：Further Practice C (p.34)</p> <p>(2) ア：本文 (p.26, 28, 30), Further Practice B,C (p.34)</p> <p>(2) イ：本文(p.26, 28, 30), Comprehension (p.27, 29, 31), Review B(p.32)</p> <p>(2) ウ：本文(p.26, 28, 30), Comprehension (p.27, 29, 31), Review A (p.32), Further Practice A (p.34)</p> <p>(2) エ：Further Practice C (p.34)</p> <p>第3款</p> <p>1：本文(p.26, 28, 30), Further Practice C (p.34)</p> <p>2：Phrases &amp; Structures (p.32), Practice C (p.33)</p>	10
Unit 2 Lesson 2 Let There Be Light!	<p>第2款 2</p> <p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：学校での学習や活動</p> <p>[言語の働きの例] b 気持ちを伝える：望む／c 情報を伝える：説明する／d 考えや意図を伝える：推論する</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの</p>	<p>(1) ア：本文 (p.36, 38, 40), Review A (p.42), Further Practice B (p.44)</p> <p>(1) イ：本文(p.36, 38, 40), Comprehension (p.37, 39, 41), Review B (p.42)</p> <p>(1) ウ：Comprehension(p.37, 39, 41), Review B(p.42), Further Practice (p.44)</p> <p>(1) エ：Further Practice C (p.44)</p> <p>(2) ア：本文 (p.36, 38, 40), Further Practice B,C (p.44)</p> <p>(2) イ：本文(p.36, 38, 40), Comprehension (p.37, 39, 41), Review B(p.42)</p> <p>(2) ウ：本文(p.36, 38, 40), Comprehension (p.37, 39, 41), Review A (p.42), Further Practice A (p.44)</p> <p>(2) エ：Further Practice C (p.44)</p> <p>第3款</p> <p>1：本文(p.36, 38, 40), Further Practice C (p.44)</p> <p>2：Phrases &amp; Structures (p.42), Practice C (p.43)</p>	10
Unit 2 Lesson 3 How the Kiwi Lost Its Wings	<p>第2款 2</p> <p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動、地域での活動</p> <p>[言語の働きの例] b 気持ちを伝える：望む／c 情報を伝える：説明する／d 考えや意図を伝える：主張する</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの</p>	<p>(1) ア：本文 (p.46, 48, 50), Review A (p.52), Further Practice B (p.54)</p> <p>(1) イ：本文 ( p.46, 48, 50 ) , Comprehension A (p.47, 49, 51), Review B (p.52)</p> <p>(1) ウ：Comprehension (p.47, 49, 51), Review B (p.52), Further Practice (p.54)</p> <p>(1) エ：Further Practice C (p.54)</p> <p>(2) ア：本文 (p.46, 48, 50), Further Practice B,C (p.54)</p> <p>(2) イ：本文(p.46, 48, 50), Comprehension (p.47, 49, 51), Review B(p.52)</p> <p>(2) ウ：本文(p.46, 48, 50), Comprehension (p.47, 49, 51), Review A(p.52), Further Practice A (p.54)</p> <p>(2) エ：Further Practice C (p.54)</p> <p>第3款</p> <p>1：本文(p.46, 48, 50), Further Practice C (p.54)</p> <p>2：Phrases &amp; Structures (p.52), Practice (p.53)</p>	10
Unit 2 Lesson 4 Nature Technology	<p>第2款 2</p> <p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>	<p>(1) ア：本文 (p.56, 58, 60), Review A(p.62), Further Practice B (p.64)</p> <p>(1) イ：本文 ( p.56, 58, 60 ) , Comprehension (p.57, 59, 61), Review B (p.62)</p> <p>(1) ウ：Comprehension (p.57, 59, 61), Review B (p.62), Further Practice (p.64)</p> <p>(1) エ：Further Practice C (p.64)</p> <p>(2) ア：本文 (p.56, 58, 60), Further</p>	10

	<p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 〔言語の使用場面の例〕 a 特有の表現がよく使われる場面：手紙や電子メールのやりとり／b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活 〔言語の働きの例〕 b 気持ちを伝える：望む、謝る、感謝する／c 情報を伝える：説明する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する、主張する／e 相手の行動を促す：助言する、命令する、注意を引く</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの</p>	<p>Practice B,C (p.64)</p> <p>(2) イ：本文(p.56, 58, 60), Comprehension (p.57, 59, 61), Review B (p.62)</p> <p>(2) ウ：本文(p.56, 58, 60), Comprehension (p.57, 59, 61), Review A (p.62), Further Practice A (p.64)</p> <p>(2) エ：Further Practice C (p.64)</p> <p>第3款</p> <p>1：本文(p.56, 58, 60), Further Practice C (p.64)</p> <p>2：Phrases &amp; Structures (p.62), Practice C (p.63)</p>	
<p>Unit 2</p> <p>Lesson 5</p> <p>Buyology</p>	<p>第2款 2</p> <p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 〔言語の使用場面の例〕 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：学校での学習や活動 〔言語の働きの例〕 c 情報を伝える：説明する／d 考えや意図を伝える：主張する</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの</p>	<p>(1) ア：本文(p.66, 68, 70), Review A (p.72), Further Practice B (p.74)</p> <p>(1) イ：本文 ( p.66, 68, 70 ) , Comprehension (p.67, 69, 71), Review B (p.72)</p> <p>(1) ウ：Comprehension (p.67, 69, 71), Review B (p.72), Further Practice (p.74)</p> <p>(1) エ：Further Practice C (p.74)</p> <p>(2) ア：本文 (p.66, 68, 70), Further Practice B,C (p.74)</p> <p>(2) イ：本文(p.66, 68, 70), Comprehension (p.67, 69, 71), Review B (p.72)</p> <p>(2) ウ：本文(p.66, 68, 70), Comprehension (p.67, 69, 71), Review A (p.72), Further Practice A (p.74)</p> <p>(2) エ：Further Practice C (p.74)</p> <p>第3款</p> <p>1：本文(p.66, 68, 70), Further Practice C (p.74)</p> <p>2：Phrases &amp; Structures (p.72), Practice C (p.73)</p>	<p>10</p>
<p>Unit 2</p> <p>Lesson 6</p> <p>Personal Space</p>	<p>第2款 2</p> <p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 〔言語の使用場面の例〕 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動 〔言語の働きの例〕 c 情報を伝える：説明する</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの</p>	<p>(1) ア：本文(p.76, 78, 80), Review A (p.82), Further Practice B (p.84)</p> <p>(1) イ：本文 ( p.76, 78, 80 ) , Comprehension (p.77, 79, 81), Review B (p.82)</p> <p>(1) ウ：Comprehension (p.77, 79, 81), Review B (p.82), Further Practice (p.84)</p> <p>(1) エ：Further Practice C (p.84)</p> <p>(2) ア：本文 (p.76, 78, 80), Further Practice B,C (p.84)</p> <p>(2) イ：本文(p.76, 78, 80), Comprehension (p.77, 79, 81), Review B (p.82)</p> <p>(2) ウ：本文(p.76, 78, 80), Comprehension (p.77, 79, 81), Review A (p.82), Further Practice A (p.84)</p> <p>(2) エ：Further Practice C (p.84)</p> <p>第3款</p> <p>1：本文(p.76, 78, 80), Further Practice C (p.84)</p> <p>2：Phrases &amp; Structures (p.82), Practice C (p.83)</p>	<p>10</p>
<p>Unit 2</p> <p>Lesson 7</p> <p>Coffee Travels the World</p>	<p>第2款 2</p> <p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 〔言語の使用場面の例〕 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活 〔言語の働きの例〕 c 情報を伝える：説明する、理由を述べる</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの</p>	<p>(1) ア：本文(p.86, 88, 90, 92), Review A (p.94), Further Practice B (p.96)</p> <p>(1) イ：本文 ( p.86, 88, 90, 92 ) , Comprehension (p.87, 89, 91, 93), Review B (p.94)</p> <p>(1) ウ：Comprehension (p.87, 89, 91, 93), Review B (p.94), Further Practice (p.96)</p> <p>(1) エ：Further Practice C (p.96)</p> <p>(2) ア：本文(p.86, 88, 90, 92), Further Practice B,C (p.96)</p> <p>(2) イ：本文 (p.86, 88, 90, 92), Comprehension(p.87, 89, 91, 93), Review B (p.94)</p> <p>(2) ウ：本文 (p.86, 88, 90, 92), Comprehension (p.87, 89, 91, 93), Review A (p.94), Further Practice A (p.96)</p> <p>(2) エ：Further Practice C (p.96)</p> <p>第3款</p> <p>1：本文 (p.86, 88, 90, 92), Further Practice C (p.96)</p> <p>2：Phrases &amp; Structures (p.94), Practice C (p.95)</p>	<p>12</p>
<p>Unit 2</p> <p>Lesson 8</p> <p>Reviving Cambodian Silk Culture</p>	<p>第2款 2</p> <p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 〔言語の使用場面の例〕 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：学校での学習や活動、地域での活動／c. 多様な手段を通じて情報などを得る場面：本、新聞、雑誌などを読むこと 〔言語の働きの例〕 c 情報を伝える：説明する、理由を述べる</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの</p>	<p>(1) ア：本文 (p.98, 100, 102, 106), Review A (p.108), Further Practice B (p.110)</p> <p>(1) イ：本文 (p.98, 100, 102, 106), Comprehension (p.99, 101, 103, 107), Review B (p.108)</p> <p>(1) ウ：Comprehension (p.99, 101, 103, 107), Review B (p.108), Further Practice (p.110)</p> <p>(1) エ：Further Practice C (p.110)</p> <p>(2) ア：本文 (p.98, 100, 102, 106), Further Practice B,C (p.110)</p> <p>(2) イ：本文 (p.98, 100, 102, 106), Comprehension (p.99, 101, 103, 107), Review B (p.108)</p> <p>(2) ウ：本文 (p.98, 100, 102, 106), Comprehension (p.99, 101, 103, 107), Review A (p.108), Further Practice A (p.110)</p> <p>(2) エ：Further Practice C (p.110)</p>	<p>12</p>

		第3款 1 : 本文 (p.98, 100, 102, 106), Further Practice C (p.110) 2 : Phrases & Structures (p.108), Practice C (p.109)	
Unit 3	第2款 2 (1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 (2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。	(1) イ : 本文 (p. 112-114, 118-120, 124-126, 130-132, 136-141) (1) ウ : Comprehension (p. 115-116, 121-122, 127-128, 133-134, 142-143) (2) ア : 本文 (p. 112-114, 118-120, 124-126, 130-132, 136-141) (2) イ : 本文 (p. 112-114, 118-120, 124-126, 130-132, 136-141) , Comprehension (p. 115-116, 121-122, 127-128, 133-134, 142-143) (2) ウ : 本文 (p. 112-114, 118-120, 124-126, 130-132, 136-141) , Comprehension (p. 115-116, 121-122, 127-128, 133-134, 142-143)	28
Column 1-6	第2款 2 (1) イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。	(1) イ : p. 117, 123, 129, 135, 144 (1) ウ : p. 117, 123, 129, 135, 144 (2) イ : p. 117, 123, 129, 135, 144 (2) ウ : p. 117, 123, 129, 135, 144, 145-147	
IDIOM LIST WORD LIST	ア 語、連語及び慣用表現 (7) 語 b 「コミュニケーション英語 III」にあつては、中学校、コミュニケーション英語 I、II で学習した語を除いた 700 語程度の新語 (4) 連語及び慣用表現のうち、運用度の高いもの	(7) : WORD LIST (p.150-157) (4) : IDIOM LIST (p.148-149)	—
計			136